

INFORMATION & COLUMN



FISH & CHIPS

MODEL : SADDLE BRIDGE-P
 COLOR : Silver (W) ・ Gold (G)
 Gold/Yellow Tortoise (G/YT)
 PRICE : ¥27,300 (W ・ G)
 ¥28,350 (G/YT)

FISH&CHIPS待望のニューモデル ついに発売！！

1930～50年代に英・米の紳士が愛用したメタルフレームをモチーフに、大量生産にはないフィリングを求めて創られた当社オリジナル「フィッシュ&チップス」。2011年の発売当初は肉厚なブラックフレームが主流でしたが、予想通りトレンドはスリム化に向かい、クラシックメタルが最旬のスタイルとして注目を集めています。今回、そのフィッシュ&チップスに新作が加わるようになりました。その名は『SADDLE BRIDGE-P (サドルブリッジ-P)』。イメージしたのは欧米文化が世界を圧倒的にリードしていた頃の知識人を彷彿させる一山の眼鏡です。それらはファッションとは一見無関係のようでありながら、かける人のステータスを象徴するかのように精巧につくられた物でした。ニューモデルを製作するにあたり、徹底してこだわったのはフレームの「細さ」です。これまでクラシカルなメタルフレームは過去に何度かつくられてきました。しかし、いつも不満に感じてしまうのはブロー智(*1)やテンプル(眼鏡のアーム部分)が太く、その部分だけが現代的な事です。まとまった量をつくり、マーケットに流通させるためには、ある

程度以上の太さでつくらないと安全性に欠けるという考えから離れられなくなっているのです。しかし、それではハンドメイド時代のフレームが持つ趣を喪失させることはできません。そこで、製造現場と何度もディスカッションしながら、高度な技法によって強度を維持したうえでリム(枠)やブロー智、それにつながるテンプルの幅を限界まで細くし、メタルヴィンテージアイウェア特有の可憐なラインを継承しました。また、テンプルとブロー智に繊細な彫金模様を施すことで、一流のクラフトマンが腕を競い合っ創り上げた当時の質感を蘇らせています。しかし、これらは単純な複製品ではありません。例えば、彫金模様が美しく映えるようにボックス・リムロック(*2)を採用し、丁番(テンプルの開閉機構)の一部がテンプルと一体になったスパルタ式丁番にすることで、強度を高めています。力量あるデザイナーと技術者が現在の美意識を持って創り出したコレクションに眼鏡通の方々もきっとご満足いただけるはずです。

*1...リムに取り付けられているパーツ。ネジの緩期によって、レンズの着脱を行います。
 *2...ブロー智の一種。箱型の中にネジ止めが収納されており、外側に切れ目など余分な線がありません。

CROSS TALK WITH ★ SHOP MANAGER

全日本伊達メガネ協会って知ってる？

岡田：今年、全日本伊達メガネ協会が発足しました。伊達眼鏡なんてのは、私も業界に入って10数年販売していますから、決して珍しい物ではありません。でも、ファッションアイテムとしての価値や、アイプロテクトとしての役割をご存知ない方は、まだまだいらっしゃる訳で、その辺を今一度アピールしていこうというのが趣旨ですね。

佐藤：欧米では、「ダテ」という概念はないそうです。彼らは瞳の色が薄く、サングラスの使用頻度が高い。そのせいか度数が入っていないクリアレンズをかけるという発想自体がないんですね。

新村：伊達眼鏡は、日本独自の文化と言えるでしょう。そもそも「伊達」という言葉自体が伊達政宗に由来するものです

し、日本ならではの粋の文化です。ちなみに私は、度入りはデスクワーク用のみで基本は伊達眼鏡オンリーです。

岡田：私も佐藤も度入った眼鏡をかけてます。眼鏡が必要不可欠だったから、自ずと眼鏡に興味がある。それはわかるんですが、視力矯正を必要としない人が眼鏡に興味を持ったきっかけというのは何でしょう。

新村：興味を持ったのは90年代、アメカジとか古着がブームでご多分に漏れず、私もハマっていたんですが、とある写真集でアロハに黒のバイカーズシェイドの眼鏡をかけている人を見たんです。それが、カッコ良くて。普通のカジュアルファッションでも、眼鏡があるか、無いかで雰囲気がいずぶん違うんですよ。それからですね、伊達眼鏡をかけるようになったのは。

岡田：そこポイントですよ。眼鏡って顔の真ん中にくる唯一のアイテムですから、その効果はすごいです。Tシャツ一枚で試してみると、よくわかります。ある時、無い時みたいなね。

佐藤：サングラスも同じような、要素がありますが、終日かけられるという意味では、伊達眼鏡に軍配が上りますね。

新村：掛けたことがない方には抵抗感もあるかと思いますが、紫外線や最近話題のブルーライトのカット機能も付けられますので、一度、店頭でお試しくださいかなと思います。

岡田：そうですね。当店でも、反射無しのUVカットレンズで一組4200円、ブルーライトカットレンズで一組8400円とリーズナブルですから、ぜひ、チャレンジしていただきたいです。合い言葉は「DA-TE」、世界に広めよう！

佐藤：ファッション性と機能性の両立、これが世界に発信できる日本の伊達眼鏡文化ですね。全日本伊達メガネ協会のフェイスブックのページがあるので興味のある方は是非ご覧下さい。詳しくは、facebook.com/eyewear.dateで。



新村 勝明
 G.B.Gafas OSAKA horie店長
 1997年入社、G.B.Gafas創設時の知る数少ないスタッフのひとり。児童館で信頼も厚い。



岡田 卓也
 G.B.Gafas KYOTO店長
 1998年入社。過去に全園誌でのコラムを持つ等、業界屈指の眼鏡通。ファッションにも精通。



佐藤 浩一
 G.B.Gafas OSAKA umeda店長
 1998年入社、G.B.Gafas KYOTOの前身THE GLASSESにて10年店長を務める。食べることが好きな一児の父。

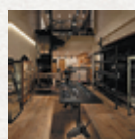
The counterculture , G.B.Gafas

南船場から堀江に移転し、1年半が経ちました。移転するにあたり私たちがキーワードにしたのは「カウンターカルチャー」です。1960年代の欧米で誕生した音楽や芸術、ファッションにおけるカウンターカルチャーが当初はマイノリティな存在でありながら若者達に大きな影響を与えたように、G.B.Gafas OSAKA horieは眼鏡における新しい価値観の発信地として退屈なマーケットを常に刺激する存在でありたいと考えています。



G.B.Gafas OSAKA horie
 大阪市西区南堀江 1-14-18
 TEL : 06-4395-5709
 MAIL : gafas-horie@glasses-co.jp
 営業 : 11:00~20:00
 無休(年末年始を除く)

2012年5月、堀江に移転しました!!



G.B.Gafas KYOTO
 京都市中京区御所八幡町 233-2 御池通河内西北角
 TEL : 075-708-2189
 MAIL : gafas-kyoto@glasses-co.jp
 営業 : 11:00~20:00
 無休(年末年始を除く)



G.B.Gafas OSAKA umeda
 大阪市北区梅田 1-12-9 E-ma 2F
 TEL : 06-4785-7543
 MAIL : gafas-umeda@glasses-co.jp
 営業 : 11:00~21:00
 無休(年末年始を除く)



G.B.Gafas OSAKA umeda
 大阪市北区梅田 1-12-9 E-ma 2F
 TEL : 06-4785-7543
 MAIL : gafas-umeda@glasses-co.jp
 営業 : 11:00~21:00
 無休(年末年始を除く)

check the new case!!



この数年、クラシカルなアイウェアが世界を席巻し、定番化しつつあります。そこで、当店でお渡していたオリジナルケースも、そんなフレームに相応しいデザインにリニューアルを行う事になりました。古い資料や記憶をたよりに、使い込んでも味がでる、ヴィンテージな雰囲気仕上がりになっています。ご期待下さい。

GLASSES CO.,LTD.
 MOBILE SERVICE

G.B.Gafas
 KYOTO @G.B.Gafas_KYOTO
 OSAKA umeda @G.B.Gafas_Ema
 OSAKA horie @G.B.Gafas
